

児童・生徒が湖をきれいに

湖水浴シーズンを目前に控えた6月、町内の小、中学校、幼稚園などが猪苗代湖の清掃活動に取り組みました。その一部を紹介します。



草をかき分けながら、熱心にごみを拾い集める児童

翁島小児童が保護者らと清掃

翁島小学校は6月4日、猪苗代湖でクリーン作戦を実施しました。同校では、年間を通して猪苗代湖を中心とした環境学習に取り組んでおり、その一環として行われたものです。当日は全校児童と教職員、保護者ら約100人が参加。湖北岸の小黒川河口付近を清掃し、燃えるごみ、燃えないごみ、プラスチックなどに分別しながら熱心にごみを拾い集めました。3年生の笠間快斗さんは「ごみがたくさんあって驚いた。湖が汚くなるので、ごみを捨てないでほしい」と話しました。

東中1年生がボランティア活動

東中学校の1年生34人は6月25日、猪苗代湖の天神浜周辺でボランティア活動を実施しました。地域に貢献し、周辺環境の保全に努める態度を育成することなどが目的で、生徒たちが湖岸のごみ拾いや公衆トイレの清掃、駐車場の除草などに取り組みました。ボランティア活動の前には、小平潟天満宮で郷土学習を実施。氏子総代の渡辺道雄さんから講義を受け、天満宮の歴史や学問の神・菅原道真公、小平潟出身の天才連歌師・猪苗代兼載などについて学びました。



天神浜の駐車場の草むしりをする生徒



志田浜で湖岸のごみを拾い集める児童ら

緑小が猪苗代湖の3浜を清掃

緑小学校の全校児童71人と教職員は6月18日、同校が毎年この時期に行っている猪苗代湖畔清掃ボランティアを実施しました。3班に分かれ、それぞれ天神浜、志田浜、上戸浜の3浜で湖畔のごみを拾い集めました。今年は、「体験の風をおこそう運動」において社会体験奉仕活動を推進している国立磐梯青少年交流の家が協力。ごみ袋の提供や清掃用バケツの貸し出しを行い、職員も児童と一緒に清掃活動に取り組みました。およそ1時間の活動でしたが、児童たちは湖をきれいにしようとたくさんのごみを拾っていました。



大好きなパパ、ママと一緒にハイ、チーズ

人懐こく、元気いっぱいの雄星くん。パパは「やさしく、あいさつができる子になってほしい」、ママは「とにかく元気に育ってほしい」と話します。

阿部 雄星 くん

平成25年8月生まれ

～旭町

雄一さん・裕美さん夫婦の長男

「ごはんをモリモリ食べて、すくすく成長中の雄星くん。大好物のバナナは、1日に2本食べることもあります。」
「つかまり立ちができるようになってから、全然じっとしてないです」と話すのは、パパの雄一さん。その隣では雄星くんがテーブルに登り、お菓子を取ろうと頑張っています。
「言葉も出るようになってきて、最近、『パパ』と呼ぶようになりました」と笑顔を見せるママの裕美さん。雄一さんは「ただの偶然。発音しやすいからだよ」と照れながら話します。
4世代同居の阿部さん一家。みんな雄星くんが大好きです。たくさんのお愛情を受けて、元気いっぱいな雄星くんが、今日もみんなを笑顔にします。
※「笑顔でこんにちは」に掲載希望の人は広報担当まで申し出てください。
☎(62)2111

Circle introduction

当教室内は常に笑顔が絶えることなく、尺八、笛の音色や生徒さんの唄声が響き渡っている、そんな雰囲気です。
民謡を学ぶ目的は、人それぞれです。何か趣味を持ちたい、健康のため、自分を変えたいなどさまざまです。民謡に「こうでなくてはならない」といった決まりはありません。大切なのは楽しいか、目的を果たしているかに尽きます。
当教室では、発表会を通して練習の成果を披露しています。生徒さんの中には、「あまり人前で歌いたくない」と思っている方もいらっしゃると思いますが、「出てもいいかな」と考えてくれるような指導を目標に宝山会も頑張ります。
当教室はどなたでも大歓迎です。一緒に楽しく民謡を学びましょう。
※このコーナーでは、活動をPRしたい団体を募集します。希望する団体は広報担当まで問い合わせてください。☎(62)2111

民謡教室「宝山会」 (佐藤 祥一 会長)

入会をご希望の方は、下記までご連絡ください。
佐藤 ☎(62)4367



毎週木曜日、学びいで活動しています



私たちと一緒に、楽しく民謡を学びませんか